

いわみざわの民話

第3回

いわみざわの民話は、平成9年に「いわみざわの民話」刊行委員会が発行しました。

渡し場物語①

川ひとつはさんで、向かいは栗沢、こちらは岩見沢である。いまは立派な上幌橋がかかり、岩見沢の側は上志文町となっている。上志文町も、昔といまはずいぶん変わっているようだが、この橋のあたりは、すなわち渡し場といったところである。当時はかなり栄えたところらしく、そこが人の出入りのはげしい宿場となっていた。

舟はアイヌの使った丸木舟ではなく、ちゃんとした手のこんだ舟だったというから、このあたりにはちょっとした舟大工もいたのだろう。

人の出入りの多いこは、いまでいう繁華街とも名づけるべきところで、宿屋はもちろんのこと、料理屋もあり



客引きもいたらしい。店といえば、いちおうそろっていたらしく、オケヤ、トウフヤ、ブリキヤ、ティテツヤ、トコヤ、カジヤ、それに五リンパンヤもあったという。なかなかいろいろなものがあるって、珍しいことでは、ヨーカン売るヨーカンババア、テンプラをあげるテンプラババアなどもいたといわれている。

それに神社、お寺、駐在所もあり、芝居小屋もあったというから、ひとり町の形態はなしていたといえる

だろう。しかもこは、山間に万字炭鉱をもっていたし、当時は原木もかなり出していたというから、なかなかのぎわいをなしていたのだろう。

ともかく岩見沢に出るのにも、夕張にゆくのにも、どうしても通らねばならぬところであり、それを横切るようにして山間の万字炭鉱もあるということから、いわばここが十字路ということでもあった。そんなわけで、さまざまな人種が集まって、かなり物騒な町であったともいわれている。ずいぶん悪い奴も来だし、あらくれ者も来たらしい。だから駐在所の巡査などでは、おさまりのつかぬ事件がたくさんあったようだ。

《続く》

第4回は「渡し場物語②」を紹介いたします。

発行・編集 岩見沢市総務部市民活動課

ひとの動き 平成22年4月30日現在

●住民基本台帳	人	口	総数 90,592人 (前月比 +39)
			男 42,587人 (前月比 +37)
			女 48,005人 (前月比 +2)
	世帯数	42,384世帯 (前月比 +154)	

岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
 ☎ 0126-23-4111 ㊚ 0126-23-9977
 ホームページ <http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>
 ▶救急当番医ガイド ☎ 0126-23-5153
 ▶消防テレホンガイド ☎ 0126-24-0119

この広報紙は道産間伐材配合紙を使用しています。